

RIKKEN  
MINSHU  
号外

2020年9月号

立憲民主編集部  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町  
2-12-4 ふじビル3F  
Tel. 03-6811-2301  
Fax. 03-6811-2302  
goiken@cdp-japan.net  
http://cdp-japan.jp/

立憲民主

The Constitutional Democratic Press

立憲民主党滋賀県連合

〒520-0051

大津市梅林1丁目4-15

滋賀県教育会館3F

Tel: 077-527-1661

Fax: 077-527-1662

## 臨時国会開会は憲法上の義務！

7月31日に、立憲民主党、国民民主党、社民党、日本共産党、社会保障を立て直す国民会議の野党5党派は憲法53条に基づく臨時国会召集要求書を大島理森衆院議長に提出しました。

しかしながら、8月4日に政府与党は「抱えている法案や条約の承認が今のところないので、慣例

主義で言えば国会を開催する状況ではない」として、野党の要求を拒否しました。これに対してTwitter上では「#臨時国会の開催を求めます」のハッシュタグが大きな広がりを見せています。さらに枝野幸男代表は「臨時国会開会は憲法上の義務であり、開かないこと自体が憲法違反である」と指摘し、新型コロナウイルス感染症対策について政府としての方針があるのか、対応策が適切なものであるのか、行政監視の役割を果たし「しっかりと国民の皆さんの前に明らかにさせる。夏休みをとっている場合ではない」と強調しました。

# #臨時国会の開催を求めます

憲法53条：いづれかの議院の総議員の四分の一以上の要求があれば、内閣は、その召集を決定しなければならない。

## 国民の生活を守る政策を！

立憲民主党は政府与党に対して様々な政策を提案しています。特に新型コロナウイルスの感染拡大の第2波が全国的に拡大している中、PCR検査の充実、医療体制の整備、医療機関への財政的支援などは急務であり、そのための予算確保や新型コロナウイルス特措法の改正を行うべきだと訴えています。

また、8月15日に発表された今年度4月から6月までのGDPは年率換算で前期比27.8%の大幅減少となり、倒産や解雇などが増加するなど、深刻な状況になっています。生活に苦慮している個人や事業主への手厚い支援を、休業手当が受けられない学生バイト、融資が受けられない企業等へも早急に拡充すべきです。



立憲民主党はこれからも、国民の皆さんの生活を守るための政策提案を行います。



# 合流新党結成へ

## 目指すは”安心の社会、経済、政府”

8月11日、立憲民主党と国民民主党がそれぞれ解散し、両党の所属議員や無所属の議員が合流して新党を結成することが決まった。新党の綱領と規約の案について合意に達し、党名に関する協議は最も難航したが、党代表と共に投票で決定することとなり、「合流新党」結成の流れが固まった。

**政** 党の合流や新党結成には、「大義」が必要だ。政党の大義とは、そこに集う者が国家国民のために何を目指し、何を行うのか？ということだ。政党が合流する際、国家国民のためではなく自分たちの利益を図り、政党が目指すもの（＝理念）や政党が行おうとするもの（＝政策）の共有をおざなりにすると、「数合わせ」「野合」などと酷評される。前回の解散総選挙の際、民進党が希望の党と合流し、有権者から厳しい審判が下ったケースは典型例で、短期間での合流ゆえ、理念や政策の共通性よりも異質性が目立ち、それが同志の分裂と有権者の反発につながった。慚愧と悔恨の至りだ。しかし、今回の合流は事情が異なる。合流新党に参加する立憲民主党、国民民主党および無所属議員の大半は、ほぼ1年にわたって共同会派として法案作りや政策・予算の提案などで結論を出してきた。決してにわか仕立てではない。

**綱** 領案の冒頭では、基本理念として「立憲主義と熟議を重んずる民主政治を守り育て、人間の命と暮らしを守る、国民が主役の政党」と謳われている。合流新党が目指すのは、①恣意的かつ拙速な権力行使を戒め、法の支配と多様な意見を尊重すること、②自己責任でリスクを個人に負わせるのではなく、命と暮らしを守るために国や社会が積極的な役割を果たすこと、③上から目線の国家中心の政治ではなく、地域や現場の目線を大切に

する国民中心の政治を実行することだと受け止めている。現政権への不信、不満の原因を取り除き、その解決策を実行することこそ、合流新党が目指すものだ。その実現のために、仲間を増やし次期総選挙での政権交代を果たさなくてはならない。合流新党の理念や政策は揺るぎなく、結成には十分な大義があると言える。

**解** 散風も吹く中、今も多くの国民は「政府与党の迷走するコロナ対策や相次ぐ不祥事には不満だが、バラバラの野党に政権を託すのは不安だ」と思っておられるだろう。野党が「大きな固まり」となって安定感と信頼感につながる活動を重ね、国民が野党に対して不安感ではなく、政治を変えてくれるという期待感を抱いてもらうことこそ急務だ。先の衆院選後、滋賀で国政経験者不在の立憲民主党に籍を置き、仲間の選挙運動を支援し、地域政策の提言に共に取り組むことで「大きな固まり」の基盤を県内で維持してきた。これからが本当のスタートだ。合流新党の政権獲得と大義の実現に向け、私も精進を重ねていきたい。

\*\*\*\*\*  
新しいポスターができました  
ご協力をお願いします

ご自宅や会社、倉庫の外壁や塀、フェンス等にポスターを掲示させていただける方は、事務所までお知らせください。皆様のご理解とご協力をお願いします。

☎0749(21)1003

